

は じ め に

「神戸地域ビジョン～21世紀への夢提案～」に描かれた神戸地域の将来像の実現やそのプロセスへの取り組みのため神戸地域県民行動プログラムとして、実践活動のヒントとなるよう「行動提案」をまとめて1年がすぎました。

このプログラムは、すぐにできるところから取り組んでいこうという願いを持った項目から、将来の社会の成熟に従い実施していこうというものまで多彩に提案されておりますが、「できるところからはじめましょう。さあ、楽しもう神戸」という神戸地域ビジョンでの提唱のとおり、できる活動から委員の具体的な実践活動が進められてきています。

昨年7月7日七夕の日に開催した夢会議で「この指とまれ」と呼びかけのあった複数委員のグループによる実践活動、委員が地域に持ち帰って展開した活動、行政との協働による地域間交流活動、ビジョンの普及啓発に主体的に取り組んだミニ夢会議など、形態も様々なら、コミュニティの活性化、生涯学習と子どもの結びつけ、農都・神戸、六甲山の楽しみ方、留学生と地域、商店街と地域の結びつけなど分野も様々なものとなっています。

この「神戸地域県民行動プログラム - 神戸地域ビジョンの実現のための行動提案(第2集)」は、これら多彩な取り組みの状況のとりまとめを行い、これからの神戸地域ビジョンの実現に向けた実践活動にご活用いただきたいと願うものです。取り組みの現状から多くの教訓を汲み取っていただき、神戸らしい魅力をもっと高めようとそれぞれの場で主体的に活動されている皆さんの一助となればと思います。

神戸地域ビジョン委員会(第1期)としては、この行動提案(第2集)をもって、一応の区切りとなります。委員会は発足1年半ほどの間に、県民行動プログラムの策定とその実践を行ってきたわけですが、まだまだ実践活動としては挑戦する項目も多く、また、新たに検討していくべき行動提案も多々あると考えます。第2期地域ビジョン委員会においても、力強い取り組みをますます進め、豊富な活動の積み重ねをしていただければと願います。

2003年3月

神戸地域ビジョン委員会
委員長 山口 一史